

(第4回) 大津市水道事業経営検討委員会での質問・回答集

番号	質問	回答
37 第4回	ビジョン／第6章 安全⑤ (開催結果p.4) 「消火栓などの排水設備から放水作業を行う」とあるが、消火栓は排水設備ではないのでは。	新ビジョンを修正します。 →第6章を修正。
38 第4回	ビジョン／第6章 強靱③ (開催結果p.5) 新瀬田浄水場の浄水汚泥処理設備を下水道放流設備に変更することについて、その変更理由と、下水道への放流が問題ないことを記述しては。	新ビジョンを修正します。 →第6章を加筆。
39 第4回	ビジョン／第6章 強靱⑦ (開催結果p.6) 水道施設(配水池、加圧施設)について、基本的に耐震化率100%を目指すことと、ビジョンの計画期間においては記載の数値が最善であることを記述しては。	新ビジョンを修正します。 →第6章を加筆。
40 第4回	ビジョン／第7章 (開催結果p.14) 平成26年度に、公営企業の会計制度の変更になったため、平成26年度の当年度純損益が約4億5000万円の赤字となったが、仮にこの変更がなければ、当年度純損益はどうなっていたか。	仮に公営企業の会計制度の変更がなければ、平成26年度の当年度純損益は、約103百万円の赤字と試算されます。
41 第4回	ビジョン／第7章 (開催結果p.15) 補てん財源残高が、現金残高と乖離している部分の差は、何が原因なのか。	新ビジョンを修正します。 →第7章を修正。
42 第4回	ビジョン／第7章 7投資・財政計画 (開催結果p.17) 給水収益の見込のグラフについて、縦軸がゼロではなく40億円から始まっているため、給水収益が3分の1になるような誤解を招くのではないか。	新ビジョンを修正します。 →第7章を修正。